

警告・エラーイベントが登録される現象について ホスト OS に登録されるイベントログ

現象 1

Hyper-V 初回起動時に、イベントログ(システムログ)に以下の警告イベントが登録される。

種類: エラー

ソース: VMSMP

イベント ID: 1

説明1:

ソース "VMSMP" からのイベント ID 1 の説明が見つかりません。このイベントを発生させるコンポーネントがローカル コンピュータにインストールされていないか、インストールが壊れています。ローカル コンピュータにコンポーネントをインストールするか、コンポーネントを修復してください。

イベントが別のコンピュータから発生している場合、イベントと共に表示情報を保存する必要があります。

イベントには次の情報が含まれています:

メッセージ リソースは存在しますが、メッセージが文字列テーブル/メッセージ テーブルに見つかりません。

説明2:

Failed to open handle to switch list configuration store key due to error

00000400010030000000000000010000C0000000000000

00340000C0.

Persistent Virtual Switches and Ports are not restored.

発生状況

- ・KB950050 未適用環境に Hyper-V をインストールした時
- ・Hyper-V インストール済環境に KB950050 を適用した時

解説・回避策

Hyper-V 初回起動時に、スイッチドライバの読み込みに失敗したことを示すメッセージです。

初回ロード時にレジストリ設定が読み込めないことを示すメッセージであり、運用上 問題ありません。

回避策:

[サーバーマネージャ] [役割]役割の追加で「Hyper-V」をインストールする前に「Hyper-V 更新プログラム(KB950050)」を適用することで、イベントログに登録されなくなります。

現象 2

Hyper-V 初回起動時に、イベントログ(システムログ)に以下の警告イベントが登録される。

種類: 警告

ソース: VMSMP

イベント ID: 1

説明:

エラーC0000034 が原因でスイッチ一覧の構成ストアキーへのハンドルを開けませんでした。
永続的な仮想スイッチとポートは復元されません。

発生状況

- ・KB950050 適用済環境に Hyper-V をインストールした時
- ・Hyper-V インストール済環境に KB950050 を適用した時

解説

Hyper-V 初回起動時に、スイッチドライバの読み込みに失敗したことを示すメッセージです。
初回ロード時にレジストリ設定が読み込めないことを示すメッセージであり、運用上 問題ありません。

現象 3

Hyper-V 起動時に、イベントログ(システムログ)に以下の警告イベントが登録される。

種類: 警告

ソース: Microsoft-Windows-Servicing

イベント ID: 4374

説明:

パッケージ KB950050(Update)がこのシステムに適用できないことが検出されました。

発生状況

- ・Hyper-V インストール済環境に KB950050 を適用した時
- ・Hyper-V 未インストール環境に KB950050 を適用した時

解説

システム起動後、イベント ID: 19 が登録されている場合は、運用上 問題ありません。

現象 3 補足

種類: 情報

ソース: Microsoft-Windows-Windows Update Client

イベント ID: 19

説明:

インストールの成功 : 次の更新プログラムが正しくインストールされました : Hotfix for Windows (KBxxxxxx)。

解説

QFE の番号部分は異なりますが、この現象に関する情報は、次の Microsoft 社の Web サイトを参照してください。

URL: <http://support.microsoft.com/kb/949304/ja>

現象 4

Hyper-V 起動時に、イベントログ(システムログ)に以下の警告イベントが登録される。

種類: 警告

ソース: Microsoft-Windows-Servicing

イベント ID: 4376

説明:

パッケージ KB950050(Update)をインストールが要求されました(Install Requested)の状態に設定する操作を完了するために再起動が必要です。

発生状況

- ・KB950050 適用済環境に Hyper-V をインストールした時
- ・Hyper-V インストール済環境に KB950050 を適用した時
- ・Hyper-V 未インストール環境に KB950050 を適用した時

解説

「Hyper-V 更新プログラム(KB950050)」の適用によって、OS の再起動が必要であることを示すメッセージです。

運用上 問題ありません。

現象 5

Hyper-V 起動時に、イベントログ(システムログ)に以下の警告イベントが登録される。

種類: エラー

ソース: Service Control Manager

イベント ID: 7022

説明:

SAN/LAN Transfer Virtualization Accelerator サービスは開始時にハングしました。

発生状況

- ・KB950050 未適用環境に Hyper-V をインストールした時
- ・Hyper-V インストール済環境に KB950050 を適用した時

解説・回避策

SAN/LAN Transfer Virtualization Accelerator サービスは、使用しないサービスですので、運用上 問題ありません。

回避策:

[サーバーマネージャ] [役割]役割の追加で「Hyper-V」をインストールする前に「Hyper-V 更新プログラム(KB950050)」を適用することで、イベントログに登録されなくなります。

現象 6

KB950050 適用時に、イベントログ(システムログ)に以下のエラーイベントが登録される。

種類: エラー

ソース: Service Control Manager

イベント ID: 7023

説明:

Windows Modules Installer サービスは、次のエラーで終了しました: %%16405

発生状況

・Hyper-V インストール済環境に KB950050 を適用した時

解説

説明欄に記載のあるサービス アプリケーションの例外エラーが発生していることを示すメッセージです。

イベントログ出力後、記載のあるサービスの起動状態を確認し、リカバリ処理により記載にあるサービスが起動できている場合は、運用上問題ありません。

現象 7

Hyper-V 初回起動時に、イベントログ(システムログ)に以下のエラーイベントが登録される。

種類: エラー

ソース: Service Control Manager

イベント ID: 7024

説明:

SAN/LAN Transfer Virtualization Accelerator サービスは、サービス固有エラー 2147749902 (0x8004100E) で終了しました。

発生状況

・KB950050 未適用環境に Hyper-V をインストールした時

解説・回避策

SAN/LAN Transfer Virtualization Accelerator サービスは、使用しないサービスですので、運用上 問題ありません。

回避策:

[サーバーマネージャ] [役割]役割の追加で「Hyper-V」をインストールする前に「Hyper-V 更新プログラム(KB950050)」を適用することで、イベントログに登録されなくなります。

現象 8

Hyper-V 起動時に、イベントログ(システムログ)に以下の警告イベントが登録される。

種類: エラー

ソース: VMSMP

イベント ID: 26

説明:

"任意の仮想マシン名"の NIC ドライバは、サーバー仮想化スタックと互換性がないため読み込めません。

サーバーバージョン 2、クライアントバージョン 1(VMID)

発生状況

・ゲスト OS に Windows server 2008 /Windows Vista SP1 をインストールした時

解説

仮想マシン上の NIC (ネットワーク インターフェース) ドライバが、Hyper-V の仮想化スタックと互換性がないことを示すメッセージです、運用上問題ありません。

統合サービスの適用により、仮想化スタックの整合性が保たれ、登録されなくなります。

現象 9

Hyper-V 起動時に、イベントログ(アプリケーションログ)に以下の警告イベントが登録される。

種類: 警告

ソース: win logon

イベント ID: 6004

説明:

win logon 通知サブスクライバ <Trusted Installer> で重要な通知イベントに失敗しました。

発生状況

・KB950050 適用済環境に Hyper-V をインストールした時

・Hyper-V インストール済環境に KB950050 を適用した時

解説

Trusted Installer サービスが、シャットダウンにより強制終了されたことが原因です。

再起動時に登録されている場合は、運用上 問題ありません。

ゲスト OS (Windows Server 2000) に登録されるイベントログ

現象 1

ゲスト OS のイベントログ(システムログ)に以下の警告イベントが登録される。

種類: 警告

ソース: WMI

イベント ID: 54

説明:

イベント ID (54) (ソース WMI 内) に関する説明が見つかりませんでした。リモートコンピュータからメッセージを表示するために必要なレジストリ情報またはメッセージ DLL ファイルがローカルコンピュータにない可能性があります。

次の情報はイベントの一部です: ¥Device¥WMIServiceDevice

発生状況

- ・ゲスト OS をインストールした時
- ・ゲスト OS をインポートした時

解説

ゲスト OS を起動後、統合サービスの I/O 処理が 5 分間のタイムアウトに達するまで滞っている状態を示すメッセージです。

運用上 問題ありません。

現象 2

ゲスト OS のイベントログ(アプリケーションログ)に以下の警告イベントが登録される。

種類: 警告

ソース: Event System

イベント ID: 4098

説明:

COM+イベントシステムは、サブスクリプション{2F519218-754D-4CFE-8DAA-5215CD0DE0EB}で Logoff メソッドでの開始に失敗しました。サブスクライバは、HRESULT800706BF を返しました。

発生状況

- ・ゲスト OS をインポートした時

解説

システムに影響のないメッセージです。

sysprep 実行後に展開したイメージを起動した際のイベントであれば、

運用上 問題ありません。

現象 3

ゲスト OS のイベントログ(アプリケーションログ)に以下の警告イベントが登録される。

種類: 警告

ソース: Event System

イベント ID: 4106

説明:

COM+ イベント システムは壊れた IEventSubscription オブジェクトを検出しました。COM+ イベントシステムはオブジェクト ID {2F519218-754D-4CFE-8DAA-5215CD0DE0EB}を削除しました。今後イベントが発生した場合、サブスクライバには通知されません。

発生状況

・ゲスト OS をインポートした時

解説

システムに影響のないメッセージです。

sysprep 実行後に展開したイメージを起動した際のイベントであれば、
運用上 問題ありません。

ゲスト OS (Windows XP) に登録されるイベントログ

現象 1

ゲスト OS のイベントログ(システムログ)に以下の警告イベントが登録される。

種類: エラー

ソース: Service Control Manager

イベント ID: 7005

説明:

LoadUserProfile の呼び出しは次のエラーで失敗しました:

デバイスの準備ができていません。

詳細な情報は、<http://go.microsoft.com/fwlink/events.asp> の [ヘルプとサポート センター] を参照してください。

発生状況

・ゲスト OS をインポートした時

解説

sysprep.exe -mini を実行した後、Windows XP ベースのコンピュータに初めてログオンしたとき、登録されることがあるメッセージです。

初回ログオン時に登録される場合は、運用上 問題ありません。